



かご細工について、立岡市長と談笑する岸野さん(左)



東原副市長のお祝いの言葉に耳を傾ける入江さん(右)

いつまでもお元気で

100歳のお祝い

10月15日に岸野久さん(邑久町豆田)、10月30日に入江静子さん(長船町牛文)が満100歳を迎えました。

10月15日、黒明輝雄備前県民局健康福祉部長や立岡脩二市長らが岸野さんのお祝いに自宅を訪問しました。「野菜が大きくなるのが楽しみ」と、今も自宅でスイカやニンジンなど

を作っている岸野さん。大変お元氣な様子で、お祝いの状を受け取りました。

10月30日、東原和郎副市長らが入江さんのお祝いに自宅を訪問。「手を動かすのが良い」と、今でも編物を楽しんでいる入江さんは、東原副市長らの訪問を大変喜び、感謝の言葉を述べていました。



威勢よく小路を練り歩く地域の皆さん

大勢の皆さんが祭りを満喫

牛窓秋祭り

牛窓町牛窓地区一円で10月28日、牛窓秋祭りが行われました。獅子や麒麟の頭をした船形だんじり5基や「どんでんどん」と呼ばれる太鼓台2基、胴六角のみこしが、太鼓はやしにはやされ、地区内を勇壮に練り歩きました。

また、御霊社(綾浦)で「太刀踊」、疫神社(紺浦)

ほか3カ所で、「唐子踊」を奉納。異国風の鮮やかな色彩の衣装を着けた二人の稚児が、華麗に踊る唐子踊を一目見ようと、たくさんの方が訪れ、熱心に見入っていました。

この日は秋祭りを見物しようと、市内外から大勢の皆さんが訪れ、祭りを満喫していました。



勇壮に練り歩く太鼓台

威勢よく練り歩く 福岡だんじりまつり

福岡だんじり保存会主催の福岡だんじりまつりが、10月13・14日の2日間、長船町福岡で行われ、大勢の皆さんでにぎわいました。

14日、福岡だんじり(市指定重要文化財)巡行では、子どもたちや行幸幼稚園の園児たちが交代でだん

じりに乗り込み、法被姿の地域の人たちは、軽快なお囃子に合わせ、威勢よくだんじりを引き回しました。沿道には華やかな一行を一目見ようと、大勢の見物客が詰め掛けました。また、もち投げも行われ、家族連れや子どもたちが、縁起物を求めています。



追悼式で式辞を述べる立岡市長

恒久平和への誓いを新たに

瀬戸内市戦没者追悼式

牛窓体育館で11月10日、瀬戸内市戦没者追悼式が行われました。式には、遺族ら約350人が参加。太平洋戦争などで犠牲になった戦没者のめい福を祈るとともに、恒久平和への誓いを新たにしました。

立岡脩二市長は、「二度と

戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、恒久平和の確立と、住み続けたいまち、住んでみたいまち瀬戸内市を目指していくことを誓います」と式辞を述べました。その後、来賓や遺族による追悼の言葉と献花が行われ、戦没者に鎮魂の祈りをささげました。



立岡市長に国会請願署名の協力をお願いする高瀬さん(左から二人目)と屋さん(左)

新法制定を求め署名活動

長島愛生園・邑久光明園自治会長が署名協力要請

国立ハンセン病療養所の医療・看護体制を整備し、誰もが利用できる施設にする新法制定を求め、高瀬重二郎長島愛生園入所者自治会長と屋猛司邑久光明園入所者自治会長が11月5日、市役所を訪れ、国会請願署名活動への協力を立岡脩二市長に要請しました。

高瀬さんらは「全国の療養所でこれからの10年間に、入所者が約2、800人から800人に減

り、日常診療やリハビリなどに支障が出てくる。地元自治体の協力、市民の皆さんのご支援をいただきたい」と訴えました。「市内に療養所が二つあるのは、全国でも瀬戸内市だけ。各種団体に呼び掛け、市としても入所者とともに取り組んでいきたい」と立岡市長。

この署名活動は、今年12月15日までに100万人を目標として取り組まれています。

子どもたちが大はしゃぎ

ちびっこと

邑久スポーツ公園で10月28日、ちびっこまつりが行われ、大勢の親子連れでにぎわいました。ちびっこたちのために、子育て支援ボランティア団体「おつくんくらぶ」が主催。子どもたちは、昔遊びコーナーやゲームコーナーなどで遊んだり、

白バイや消防車に試乗したりと、思い思いにお気に入りの場所で、はしゃいでいました。また、移動どうぶつえんのうさぎやひよこと触れ合うなど、子どもたちは、いろいろな遊びを体験して、楽しい一日を過ごしました。



移動どうぶつえんでひよここと触れ合う子どもたち